



EA Trade Stop とは

EA(ExpertAdvisor)を時間指定や指標発表の前後で自動的に停止・再開するスクリプトプログラムです。

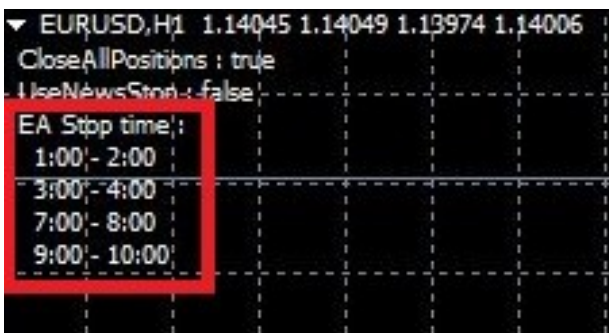
指標情報を画面に表示する機能ももっています。

以前、同じような機能を持ったフリーソフトを開発・公開していたのですが、インストールや設定が煩雑、指標情報の誤りが多い、インジケータからスクリプトを強引に実行する方法を採っていたため、停止処理がうまく動作しないケースがある、一部のインジケータは他所で作られたものであるため、解析・改修に手間がかかる・といった諸問題に対処するべく新たに作り直しました。

EA Trade Stop の機能は以下のとおりです。

- 停止する曜日と開始時間と終了時間を指定して任意の時刻に停止・再開
- 停止する月日を指定して任意の月日に停止・再開
- 指標発表の前後で指定した時間だけトレードを停止
- 停止時にポジションクローズと待機注文のキャンセルも可能
- ポジションを持っている場合には停止せず、決済（ノーポジション）と同時に停止することも可能
- 停止に失敗した場合には警告メールを送信
- 指標情報を画面に表示
- 指定した指標（国別）を対象にできる（例：USDとJPYのみ対象等）
- 画面から設定値（時刻指定）の変更可能（ON/OFF切り替えも可能）
- 緊急停止機能（スマートフォンなどからの停止指示）
- 証拠金維持率停止機能
- 過大損失緊急停止機能
- 恐怖指数(VIX)停止機能

時刻指定による停止機能



パラメーターで指定した時刻で停止します。上画像の様に左上に「停止する時刻」が表示されます。

指定は曜日と時分です。指定する時刻は日本時間で指定してください（既定値）

※パラメーターで時刻の基準値を変更することもできます。

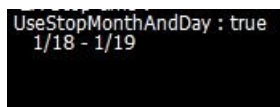
24時間停止することも可能です。その場合には0:00~0:00を指定します。

「金曜日は丸一日停止したい」という用途などに使用できます。

10パターンまで登録可能です。

月曜日は0:00から16:00まで停止。火曜日から金曜日までは3:00から8:00まで。土曜日は0:00以降停止・・・といった停止計画を作ることができます。

月日指定による停止機能



パラメーターで指定した月日で停止します。上画像の様に「停止する月日」が表示されます。

指定は月/日(MM/DD)です。指定する時刻は日本時間で指定してください（既定値）

※パラメーターで時刻の基準値を変更することもできます。

※月末や月初で停止することも可能です。

3パターンまで登録可能です。

指標発表前後で停止する機能

NewsSettings	-----
UseDisplayNews	false
UseNewsStop	false
StopNewsBackgroundColor	MidnightBlue
NewsCountry(Max10)	
IsNewsHigh	true
IsNewsMedium	true
IsNewsLow	false
StopNewsBefore	60
StopNewsAfter	60

指標発表停止機能を使用する(UseNewsStop=true)にすると指標発表の前後で停止ようになります。

停止する指標の重要度(High,Medium,Low)は選択可能です。（重要度の高い指標発表のみ停止するという設定も可能です）

停止する時間もパラメーターで指定できます。

また、停止対象にする国も設定できます。ドル円のEAを使用している場合でUSDとJPYの指標のみ停止対象にしたい場合などに使用できます。

停止時にポジションのクローズと待機注文のキャンセルする機能

停止する際にポジションのクローズと待機注文のキャンセルができます。

EAを停止した状態でポジションを持ったままにすることは危険なことが多いため、クローズ・キャンセルをおすすめいたします。

（「クローズ・キャンセルする」が規定値です）

例外的に「ポジションを閉じない、待機注文をキャンセルしない」マジックナンバーを指定することもできます。

また、別売（別製品）のScalTradeAssistProの擬似指値や擬似逆指値をキャンセルすることも可能です。

なお、ScalTradeAssistProはEAで開発されていますので指標発表が近い場合にはトレードを停止するようにしておくと、指標発表が近い時間に「うっかりポジションを持ってしまった」というミスも防げます。

[自動トレイリング/ライントレードなど機能満載のMT4トレード補助ツール ScalTradeAssistPro](#)

ポジションを持っている場合には停止せず、決済と同時に停止する機能

停止するべき条件になっても「ポジションを持っている場合には稼働してもらいたい」というケースがあります。

この機能はポジションが決済され、ノーポジションの状態になるまで待って停止する機能です。(PositonsNotStop という新機能です)

停止に失敗した場合、警告メールを送信

以前開発した無料版で「指標発表時で停止する設定をしていたが、停止に失敗して大きな損が発生してしまった」という事例がありました。

※例えば、何らかの通信エラーが発生し、ブローカーと接続エラーになっているとクローズに失敗します。

そこで最初のクローズ処理の後、数秒置いてリトライし3回リトライしてもクローズできなかった場合には指定したメールアドレスにメールを送信できるようにいたしました。(設定方法は後述)

指標情報表示機能



最大 8 件、直近の経済指標を表示します。既定値は日本時間ですが、基準時間に変更可能です。

なお、停止対象「国」を指定した場合には、指定した国の指標情報だけ表示されます。

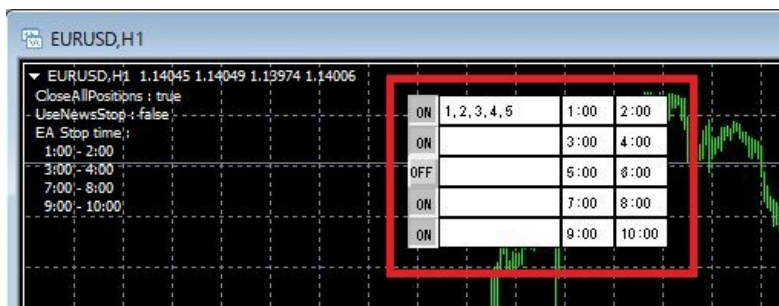
表示言語は英語か日本語を選択できます。

JP_Oanda が日本語、EN_Forexprostools が英語です。JP_Forexprostools は EN_Forexprostools の直訳に近い機械翻訳になっております。

なお、ホームページ側に負荷がかからないように 1 日に 1 回しか取得していません。(起動時はすぐに取得を開始します)

【ご注意】取得には少々お時間がかかります。インターネット回線の速度にもよりますが、1 分程度かかることもあります。

画面から設定値（時刻指定）の変更する機能



起動すると画面に曜日と時刻指定の入力欄及び、ON/OFF スイッチが表示されます。

ON が有効になっている状態、OFF が無効状態です。

曜日指定や時刻指定の入力欄から値を変更すると、その値が適用されます。(左の EA Stop time に設定値が適用されるまで 1 秒程度かかることがあります。)

緊急停止機能

スマートフォンなどの MT4 アプリから緊急停止指示が出せます。(もちろん、通常の MT4 からでも指示が出せます)

緊急停止したい場合には「停止したい(EATradeStop が稼働している)口座」にパラメーターで**指定した値(pips)以上に価格が離れた買いの指値注文(Buy Limit)を実行すると EATradeStop が「緊急停止指示」と認識して停止処理を行います。**

緊急停止機能は ON/OFF 可能で、規定値は OFF になっています。**再稼働する場合には指値注文を削除(キャンセル)してください。**

証拠金維持率停止機能

証拠金維持率が指定値を下回った場合に自動的に停止する機能です。

※停止時に強制決済する設定(CloseAllPositions)が有効になっている場合には「停止と同時に決済が行われて証拠金維持率が回復する」ため、即座に停止が解除されます。

過大損失緊急停止機能

過大な損失が発生した場合に緊急停止する機能です。

確定した損失で停止する機能と含み損で停止する機能の二種類があります。

確定した損失で停止する機能は「(サーバー時間の)日単位」で損益を合算し、指定した値を超えた場合に緊急停止します。

翌日、自動的に停止が解除されます。(※金曜日はサーバーが停止しているため土日も停止し続けます。月曜日に解除されます。)

含み損で停止する機能は「現在のポジションの合算した損益」が、指定した値を超えた場合に緊急停止します。

既定値では停止時にポジションを全決済します。決済したくない(手動で何らかの対応を行いたい)場合にはLatentLossClosePositoinを無効にしてください。

停止した場合、既定値では自動的に解除されません。**EAによるトレードを再開したい場合には手動で開始してください。**

(LatentLossAutoStartを有効にすると自動的に再開するようになります)

恐怖指数(VIX)停止機能

CBOE(シカゴ・オプション取引所)のページにて公開されている恐怖指数(VIX)が指定した値を上回った場合や下回った場合に停止する機能です

上回った際に停止する場合はStopVixHigherに値を入力し、下回った際に停止する場合にはStopVixLowerに入力します。使用しない方には0を入力してください。(両方入力した場合には「どちらかの条件に合致すると停止」します)

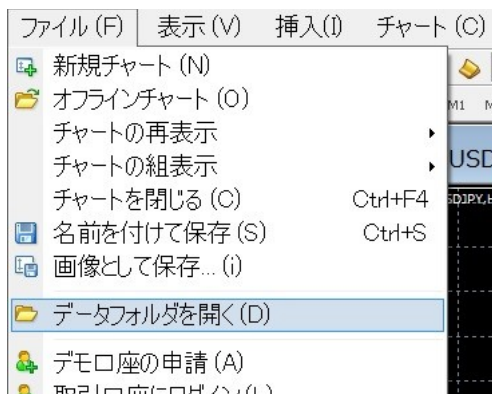
朝スキャ(早朝の取引が少ない時間帯にスキャルピングを行う)EAはVIXとの相関性があるとされており、VIXが高くなった際には停止した方が損失が低減される…ことが多いようです。

トレンドフォロー系のEAではVIXが低い場合には停止すると良い結果になる可能性があります。

VIX値が指定した値を下回る(または上回る)と自動的に解除されます。

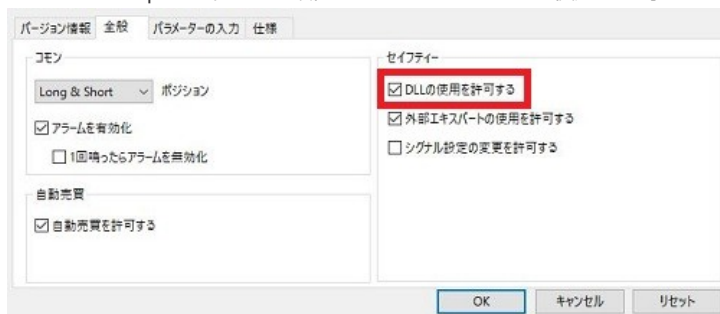
EATradeStop のインストール

- 1.ダウンロードしたファイル（zip 圧縮ファイル）を解凍し、EATradeStop.ex4 をコピーします。（まだ貼り付けしません）
- 2.MT4 を起動し、上部メニューのファイル(F)からデータフォルダを開くをクリックします。



- 3.開いたフォルダ（エクスプローラー）から MQL4→Scripts の順に開き、1.でコピーした EATradeStop.ex4 を貼り付け（ペースト）します。
- 4.MT4 を再起動するか、ナビゲーターウィンドウのスクリプト上で右クリック→更新するとナビゲーターウィンドウに EATradeStop が表示されます。

- 5.EATradeStop をチャートに設置し、全般タブの DLL の使用を許可するにチェックを入れます。



- 6.パラメーターの MailAddress に購入時のメールアドレスと OrderNumber に注文番号を入力して OK ボタンを押してください。入力情報に誤りがある場合「License error. Please check your license.」と表示されます。パラメーターをよくご確認ください。「注文番号」がご不明の場合には次ページの「よくある質問」の「注文番号がわかりません」を御覧ください。

※ご注意※

当サイト（直運営ショップ）にてカード決済時に付与される「決済番号（数字のみ）」とは異なります。アルファベットと数字の組み合わせになっている「注文番号」をご入力ください。

※当方の運営するショップ「FX 研究日記別館」**以外**でご購入された方は別紙「ライセンス申請説明書」をご覧くださいませ、ご利用前にライセンス申請をお願いいたします。

運営ショップでご購入の方はご購入時のメールアドレスと注文番号をご入力ください。自動的にライセンス登録されます。メールアドレスと注文番号がご不明の場合にはショップにログイン後、マイページからご確認できます。

※ライセンス登録できる口座は5つまでです。不要な口座を削除したい場合にはライセンスシステムから削除することができます。別紙「ライセンス削除説明書」に記載しておりますので、そちらを御覧ください。

よくある質問

Q.注文番号がわかりません。

A.ご購入ショップによって異なります。

(1) 当ショップの場合

当ショップの右上にある「ログイン」からご購入時にご登録されたメールアドレスとパスワードで「ログイン」していただきますと「マイページ」に遷移いたします。

「マイページ」ではご購入商品の一覧が表示され、その左側に「注文番号」が表示されます。

注文番号	購入日	購入金額	特別割引	使用ポイント	送料	代引き手数料	獲得ポイント
■■■■■	2019年7月18日	¥0	¥0	4,900	¥0	¥0	0

請求書 PDF 領収書 PDF

No.	商品	単価	数量	金額
1	GridOrderCSV 最新版をダウンロード(v1.00)	¥4,900	1	¥4,900

(2) ゴゴジャン(GogoJungle)ご購入の場合

最初に「ライセンス登録」でライセンス登録する必要がございます。ご登録方法につきましては同梱の「ライセンス登録説明書.pdf」を御覧ください。

Q.自宅のPCでは問題なく認証できたが、VPSで動かそうとすると「Error in webrequest. Error code = 0」というエラーが表示されます。

A.セキュリティ設定によって通信が制限されているようです。

下記のサイトを参考にIE ECSの管理者のセキュリティ強化構成をOFFにしてみてください。

<http://www.atmarket.co.jp/ait/articles/0808/01/news144.html>

認証し、設定を適用した後はセキュリティ強化構成をONに戻していただいても問題ないと思います。

(ただし、MT4を再起動した場合には再度認証しますのでセキュリティ強化構成をOFFにして再認証する必要があります)

※セキュリティ強化構成を変更した後、MT4の再起動をしてからEATradeStopを再設置してみてください。

(VPSの再起動が必要になる場合もあるようです。私は不要でしたが、一部のお客様では再起動する必要があったというご報告がありました。)

Q.マジックナンバー毎やEA毎に停止・開始することはできますか？

A.できません。MT4の仕様で個別に停止・開始することは不可能です。

当スクリプトは「MT4」単位で開始と停止を行います。停止したくないEAが存在する場合には、別のMT4を設置してください。

なお、MT4を分けた場合でも「口座番号」が同一の場合「クローズの対象」になります。EATradeStopのCloseIgnoreMagicListにマジックナンバーを指定してクローズの対象外にするよう設定してください。

EATradeStop の設定

全般タブ：「自動売買を許可する」と「DLLの使用を許可する」にチェックを入れてください。

パラメーターは以下の一覧を参考に設定してください。

※設定を入力して「OK」ボタンをクリックする前には必ず「保存」で設定値を保存しておいてください。
MT4の再起動等を行うと設定していたスクリプトは消えてしまいます。（再設定する必要があります）
再設定の際は、「保存」した設定を「読み込み」することですぐに復元できます。

各パラメーター設定

License（ライセンスの設定）

MailAddress：購入時のメールアドレスを設定します。

OrderNumber：購入時の注文番号を設定します。

CommonSettings（共通設定）

UseAutoServerOffset：サーバーの時刻を自動計算する機能です。既定値は true で通常はこのままご利用ください。

ServerOffsetGMT：サーバーの時刻を手動でセットします。UseAutoServerOffset が false の場合のみ有効です。サーバーの自動時刻計算が正しく動作しない場合に使用します。

LocalOffsetGMT：停止時刻入力や指標発表の時間表示に使用する時差です。既定値は日本時間（9）です。

CloseAllPositions：停止時ポジションのクローズ、待機注文のキャンセルを実行するかどうかです。クローズする場合には true、しない場合には false を指定します。既定値は true です。

UsePositionsNotStop：ポジションを持っている場合には「停止しない」設定です。EAなどがポジションを決済し、ノーポジションになると停止します。本機能を使用する場合には true を指定します。既定値は false です。なお、CloseAllPositions（停止時ポジションのクローズ）との併用はできません。CloseAllPositions が true の場合、CloseAllPositions が優先されます。（ポジションが決済、即時停止が行われます）

IgnoreMagicListExample：ポジションクローズや待機注文のキャンセル、の対象外にするマジックナンバー指定の指定方法の例です。変更する必要はありません。次の IgnoreMagicList(Max 100)の方にマジックナンバーをカンマ区切りで指定してください。

IgnoreMagicList(Max 100)：クローズやキャンセルの対象外にするマジックナンバーをカンマ区切りで入力してください。最大 100 個まで指定できます。数値の頭に # を付加すると「範囲指定」と認識されます。開始マジックナンバー~終了マジックナンバーという形で入力してください。

例：マジックナンバー 1000 から 1999(2000 は含まない) 及び マジックナンバー 0 を指定する場合

#1000~1999,0

なお、範囲指定も 1 つと認識されます。これにより実質 100 個以上の指定が可能になりました。

また、UsePositionsNotStop でも参照されます。特定のポジションは「持っていて停止する」場合には、ここに対象外とするマジックナンバーを指定してください。

StartBackgroundColor：自動売買（EA）が実行可能な状態背景色指定です。既定値は None（指定なし）で通常のチャート色を適用します。

StopBackgroundColor：自動売買（EA）が「時刻指定」で停止状態になった際の背景色です。既定値は DimGray（暗い灰色）です。

NewsSettings (指標発表設定)

UseDisplayNews : 指標情報を画面に表示します。表示する場合にはtrue,非表示はfalseです。既定値ではtrueになっています。
(指標情報の取得には数秒、時間がかかることがあります)

UseNewsSites : 表示するニュースを英語にするか日本語にするかを選択します。JJP_Oandaが日本語(Oanda証券より取得)、
EN_Forexprostoolsが英語、でJP_Forexporstoolsが英語版の翻訳版となっています。

UseNewsStop : 指標発表の前後で停止する場合にはtrue、停止しない場合にはfalseを設定します。既定値はfalseです。

StopNewsBackgroundColor : 自動売買(EA)が「指標発表」で停止状態になった際の背景色です。既定値はMidnightBlue(濃い青色)です。

NewsHighCountry(Max 10) : 対象にする重要度高指標(High)の国を入力できます。空の場合にはすべての国の指標を対象にします。
指定方法は指標に使用している言語によります。EN_Forexprostools(英語)の場合には通貨のシンボル3文字(USD,JPYなど)、
JP_Forexprostools(日本語翻訳)の場合には日本語の文字(米,日など)を指定します。JP_Oanda(日本語)では国の名称をそのまま指定してください(米国,日本 など)

また、複数指定する場合には国と国の間をカンマで区切ってください。(USD,JPY,…) (米,日,…) (米国,日本,…)

なお、**すべての国を対象外にする場合、日本語は“無”、英語は“None”などを入力してください。**(存在しない国であれば何でも良いです)

【参考資料】 設定する国の略称等

国名	EN_Forexprostools	JP_Forexprostools	JP_Oanda
日本	JPY	日	日本
アメリカ	USD	米	米国
ユーロ圏	EUR	欧	ユーロ
イギリス	GBP	英	英国
オーストラリア	AUD	豪	オーストラリア
ニュージーランド	NZD	NZ	ニュージーランド
スイス	CHF	スイス	スイス
カナダ	CAD	カナダ	カナダ
中国	CNY	中	中国
韓国	KRW	韓	韓国
インド	INR	インド	インド
香港	HKD	香港	香港
シンガポール	SGD	シンガポール	シンガポール
南アフリカ	ZAR	南ア	南アフリカ
ノルウェー	NOK	ノルウェー	ノルウェー
メキシコ	MXN	メキシコ	メキシコ
ブラジル	BRL	ブラジル	ブラジル
インドネシア	IDR	インドネシア	インドネシア

NewsMediumCountry(Max 10) : 対象にする重要度中指標(Medium)の国を入力できます。指定方法はNewsHighCountry(Max 10)と同様です。

NewsLowCountry(Max 10) : 対象にする重要度中指標(Low)の国を入力できます。指定方法はNewsHighCountry(Max 10)と同様です。

IsNewsHigh : 重要度高 (High) の指標を停止対象にするかどうかです。停止対象にする場合には true、しない場合には false を設定してください。既定値は true です。

IsNewsMedium : 重要度中 (Medium) の指標を停止対象にするかどうかです。停止対象にする場合には true、しない場合には false を設定してください。既定値は true です。

IsNewsLow : 重要度低 (Low) の指標を停止対象にするかどうかです。停止対象にする場合には true、しない場合には false を設定してください。既定値は false です。

StopNewsBefore : 指標発表「何分前」から停止するかを指定します。既定値は 60 (分) です。

StopNewsAfter : 指標発表「何分後」まで停止するかを指定します。既定値は 60 (分) です。

EmergencySettings (緊急停止設定)

UseEmergencyStop : 緊急停止機能を使用するかどうかです。使用する場合には true、しない場合には false を設定してください。既定値は false です。

EmergencyLimitPips : 緊急停止機能を使用する場合、現在価格よりも何 pips **以上**離れた位置に指値が入った場合に停止するかを指定します。規定値は 100(pips)です。なお、再稼働する場合には指値注文を削除(キャンセル)してください。

UseMarginStop : 証拠金維持率が指定した値よりも下回った場合に停止します。使用する場合には true を設定してください。既定値は false です。なお、CloseAllPositions が true の場合には停止と同時にポジションが決済されるため証拠金が回復し、すぐに停止が解除されます。

MarginLevel(%) : MarginStop で停止したい証拠金維持率を指定します。%指定です。UseMarginStop が true の場合のみ有効です。

UseExcessiveLoss : 大きな損失を被った場合に緊急停止します。(含み損ではなく決済後の確定した損失です) 使用する場合には true を設定してください。既定値は false です。

LossAmount : ExcessiveLoss で停止する金額を指定します。単位は口座に準拠します。(米ドル口座であれば米ドルで指定、日本円であれば日本円で指定してください。) 損失額は「(サーバー時間による)日単位」で合算し、合計損失額が指定した金額を超えたら停止します。UseExcessiveLoss が true の場合のみ有効です。

UseLatentLoss : 含み損が大きくなった場合に緊急停止します。使用する場合には true を設定してください。既定値は false です。

LatentLossAmount : LatentLoss で停止する金額を指定します。単位は口座に準拠します。(米ドル口座であれば米ドルで指定、日本円であれば日本円で指定してください。) 合計した含み損が指定した金額を超えた場合に停止します。UseLatentLoss が true の場合のみ有効です。

LatentLossClosePositions : LatentLoss 停止時にポジションをクローズするかどうかの設定です。既定値は true で停止時にすべてクローズします。false にするとポジションはそのままです。

LatentLossAutoStart : LatentLoss 停止時に含み損が LatentLossAmount で指定した金額を下回ったら(損失が解消されたら)自動的に自動売買を再開するかどうかの指定です。既定値では false で停止したままになります。true にすると自動的に再開します。

StopEmergencyBackgroundColor : Emergency 機能で停止した場合の背景色を指定できます。既定値は Maroon です。

※Emergency 機能とは EmergencyStop、MarginStop、ExcessiveLoss の 3 つの機能です。

VIXStopSettings (VIX 停止設定)

UseVixStop : 恐怖指数(VIX)が指定した値を上回った場合に停止します。使用する場合には true、しない場合には false を設定してください。既定値は false です。

StopVixHigher : 恐怖指数(VIX)が StopVixHigher に指定した値以上になった場合に停止します。既定値は 20 です。使用しない場合には 0 を入力してください。

StopVixLower : 恐怖指数(VIX)が StopVixLower に指定した値以下になった場合に停止します。既定値は 0 です。使用しない場合には 0 のままにしておいてください。

GetVixInterval(minutes) : VIX を取得する間隔です。分で指定します。既定値は 60 です。

※短い間隔で取得すると CBOE のサイトに負荷をかけてしまいますので、変更の際には実用十分なできるだけ長い間隔で取得してください

StopVixBackgroundColor : VIX 停止機能で停止した場合の背景色を指定できます。既定値は DarkGreen です。

StopTimeSettings (時刻指定停止設定)

DayOfTheWeekExample : 曜日指定方法の例です。日曜日は 0、月曜日は 1、火曜日は 2、水曜日は 3、木曜日は 4、金曜日は 5、土曜日は 6 をカンマ区切りで以降の DayOfWeek1~5 に入力してください。

なお、画面から指定する場合も、数字をカンマ区切りで入力します。

UsePatter1 : パターン 1 の有効/無効を指定します。有効にする場合には true、無効にする場合には false を設定します。

DayOfWeek1 : パターン 1 で使用する曜日設定です。指定した曜日のみ時刻指定を有効にします。なお、「空欄」の場合には**すべて**の曜日を対象にします。

StopTime(From) : パターン 1 で使用する「停止の開始時刻」設定です。指定した時刻から「停止」します。既定値は 0:00 です。

StopTime(To) : パターン 1 で使用する「停止の終了時刻」設定です。指定した時刻から「停止を解除 (再開)」します。既定値は 0:00 です。

なお、From と To どちらも 0:00 とすると 24 時間停止します。また、日をまたぐ設定 (22:00~2:00) も可能です。(※26:00 といった指定はしないでください)

UsePatter2 : パターン 2 の有効/無効を指定します。有効にする場合には true、無効にする場合には false を設定します。

以降、パターン 10 までパターン 1 と同様の設定です。複数のパターンを定義したい場合には適宜使用してください。

StopMonthAndDaySettings (月日指定停止設定)

UseStopMonthAndDay : 月日指定停止設定仕様の有無です。true にすると月日指定停止設定が有効になります。既定値は false です。

StopMonthAndDayFrom[1](MM/DD) : 停止開始月日を入力します。既定値は空欄です。

StopMonthAndDayTo[1](MM/DD) : 停止開始月日を入力します。既定値は空欄です。

【指定の例 その1】 1月1日から1月3日の3日間停止したい場合

StopMonthAndDayFrom[1](MM/DD) に 1/1 を入力し、StopMonthAndDayTo[1](MM/DD) に 1/3 を入力します。

【指定の例 その2】 12月25日から1月3日の3日間停止したい場合

StopMonthAndDayFrom[1](MM/DD) に 12/25 を入力し、StopMonthAndDayTo[1](MM/DD) に 1/3 を入力します。

※[1]はパターンを意味します。[2]はパターン2、[3]はパターン3となります。全部で3パターンの月日が登録可能です。

UseStopBeginOfMonth : 月初に停止する設定です。true にすると月初で停止します。既定値はfalse です。
(UseStopMonthAndDayの影響は受けません。このパラメーターは単独で機能します。)

UseStopEndOfMonth : 月末に停止する設定です。true にすると月末で停止します。既定値はfalse です。(UseStopMonthAndDayの影響は受けません。このパラメーターは単独で機能します。)

StopMonthAndDayBackgroundColor : 月日指定停止機能で停止した場合の背景色を指定できます。既定値はDarkGoldenrodです。

DisplaySettings (表示設定)

DisplayNewsX : 指標発表の表示開始位置です。既定値は20。表示位置を変えたい場合にのみ変更してください。

DisplayNewsY : 指標発表の表示開始位置です。既定値は100。表示位置を変えたい場合にのみ変更してください。

DisplayNewsFontSize : 指標発表の文字サイズです。既定値は10。

DisplayNewsColor(High) : 指標発表の重要度高 (High) の文字色です。既定値はCrimson (濃い赤色) です。

DisplayNewsColor(Medium) : 指標発表の重要度高 (Medium) の文字色です。既定値はYellow (黄色) です。

DisplayNewsColor(Low) : 指標発表の重要度高 (Low) の文字色です。既定値はAquamarine (明るい水色) です。

DisplayNewsSpaceOut : 指標発表の行間指定です。既定値は0。行間を広げたい場合にのみ変更してください。(正の整数を入力すると行間が広がります)

ControlPanel (コントロールパネル設定)

ControlPanelSize : 左上に表示される ON/OFF ボタンや時刻指定テキストボックスのサイズを変更できます。Big を指定すると約 1.5 倍程度大きくなります。また、None を指定すると非表示です。コントロールパネルが邪魔な場合にはNoneを指定してください。既定値はNormalです。

メール送信設定

停止時、何らかの理由でポジションのクローズに失敗した場合「警告メール」を送信できます。メール送信を行う場合にはMT4のツール> オプションのE-メールタブで設定してください。



メールの設定方法についてはMT4のマニュアルやブローカーへお問い合わせください。

※通常のメーラーと同じ設定をします。

「テスト」でメールが送信されない場合にも申し訳ございませんがブローカーの方へお問い合わせください。（サポート対象外とさせていただきます）

高度な設定

MT4 起動時に自動的に **EATradeStop** を起動する設定です。

この設定はパソコンの知識がある程度必要になります。

テキストファイルを編集します。

```
Script=EATradeStop
ScriptParameters=EATradeStop.set
```

なお、**ScriptParameters** には **EATradeStop** の設定保存時につけたファイル名を指定してください。

今回は **EATradeStop.ini** というファイル名で **MT4** のインストールフォルダに保存しました。これを「起動時の設定ファイル」と便宜上呼びます。

次にバッチファイルを作成します。

```
@echo off
"C:%Program Files (x86)%Axiory MetaTrader 4%terminal.exe" "C:%Program Files (x86)%Axiory MetaTrader 4%EATradeStop.ini"
```

“**MT4** の実行ファイル(**terminal.exe**)” “起動時の設定ファイル”

と記入してファイルを保存。あとはこれを実行(ダブルクリック)するだけです。

MT4 が起動すると自動的に **EATradeStop** が起動しますが、**EATradeStop** が設定されるのは一番左端に表示されているチャートです。

※/portable を付与して **MT4** を起動している場合には、バッチファイルの **terminal.exe** にも/portable を付与する必要があります。

注意事項

リアル口座でご利用になる前に、まずはデモ環境等で動作をご確認ください。

当ツールを利用したことに関連して生ずる損害について、一切責任を負いません。（自己責任でお使いください）

ご購入者は個人使用・業務使用に関わらず自由にご使用いただいてもかまいません。

当ツールの加工・販売等は禁止といたします。

なお、ライセンスは1つのご注文につき5ライセンス（5口座まで）となっております。5口座までは同時に使用できます。それ以上必要な場合には申し訳ございませんが、もう1つご購入ください。

不要なライセンスは削除することができます。ライセンス申請説明書.pdfに削除方法が書いておりますので、削除したい場合にはそちらを御覧ください。